

## パブリックコメントの回答について(修正案)

明知鉄道沿線地域公共交通計画(案)及び恵那市地域公共交通計画(案)へのパブリックコメント募集手続きについては、令和3年12月9日から12月28日まで募集し、3名の方から意見が提出されました。いただいた意見と考え方は以下のとおりです。

いただいた意見	市の考え方
<p>いよいよ高齢化が進む此れからの時代、公共機関での乗り物も便の縮小で益々不便になってきます。病院、買い物等々免許証返納し、独居老人の方々の暮らしの大変さが伺えます。バス停にも遠くましてやタクシーも頻繁には使えません、マイクロバス程度の車で巡回して頂くと、とても便利で有難い限りです。僻地に限らず結構町中でも不便を感じておられる方も多々あります。必要最小限の生活の安心感を保てる様、恵那市の取り組みを期待と共に、早くの実現化を願います。家から出かける事は人との繋がり又日々の生活に張り合いが出来、充実した老後を目指すのでは無いでしょうか。</p>	<p>マイクロバス程度の車で巡回すること等は、計画(案)中に、「まちなか移動手段の確保」として、恵那駅から市街地周辺の店舗や医療機関などを循環する新たな路線を運行することと位置付けております。運行は、小型車両を用いた計画であり、小型化することにより、これまで行き届かなかった所までの移送が可能となり、きめ細かなサービス提供ができると見込んでおります。このため、計画(案)を修正することなく、原案のとおりで策定したいと考えております。</p>
<p>公共交通の利用を促すためには、ラストワンマイルへの取り組みが重要であり、その部分を担うためにも自家用車を使った有償運送など各地域に根ざした活動を推進すべきである。さらに、地域にいくら情熱があっても事業の形にする事はとてもハードルが高いので、P21の3の取り組みをもっと踏み込んで、組織の設立や育成、キャッシュレスのソフト開発など運営のノウハウまでの人的、財政的な支援が必要である。また、駅前や振興事務所の前などを、乗り換えのハブに使うなどきめ細かい運用を行う事で、利用度の向上を目指すべきである。</p>	<p>地域に根差した活動推進において、有償運送等運転手の養成講座以外の支援も必要であることについて、本市では「恵那市地域公共交通計画(案)」の下位に「恵那市公共交通空白地有償運送運営基本計画」を定めており、その中において、運転手の養成講座を開設する以外に、有償運送とバス路線とのネットワークの調整や運営主体が行う登録申請手続きの支援、車両の支援があり、地域の交通を支える仕組みを構築しております。</p> <p>また、駅前などの乗り換えハブの利用について、計画(案)中に、「待ち時間を有効活用できる結節点」を整備することと位置付けております。計画に基づき、対象となる施設を選定し、地域のニーズに合わせて施設整備ができるよう調査検討を進めていく計画であります。このため、計画(案)を修正することなく、原案のとおりで策定したいと考えております。</p>

いただいた意見	市の考え方
<p>現状として明智鉄道、バス、タクシーを利用する人が少ない。考えられる原因として、明智鉄道は「ダイヤが不便」「恵那駅、岩村駅、明智駅以外は、街の中心部から離れているため不便」「駅周辺に駐車スペースが無い」。バスは「ダイヤが不便すぎる。終バスの時間が早すぎる」「住宅から停留所までの距離があり、子ども連れやお年寄りを利用するのが困難」「バリアフリー対応型バスではなく、未だに黒煙を吐いているバスである事。全く環境に配慮が足りない」。タクシーの場合は、「多くの方は、スライドドアを採用しているミニバンを所有しており利便を感じているが、未だに後席の乗り降りがヒンジ式のドアで非常に不便」</p> <p>共通として「交通系のカードを採用しているのか不明または明記していない」</p> <p>意見として明智鉄道は、JR中央線のダイヤに合わせる事が最低条件。昼間の運行は、通勤や通学を見込めないので貨客車+イベント列車の運行。蒸気機関車をリニア開通までには岩村～明智間を走らせる。寒天列車などのイベント列車内の席が中央に向いているが、風景を見れるように外側に向けるように改装する。今後は人口減少による通勤や通学、定期購入者は伸びない可能性があり、思い切って観光列車に特化するべきではないでしょうか。そのためには駅はもちろん沿線の整備は欠かせないと思います。バスは、住宅街に入れない大型バスの廃止。ミニバンタイプの車を採用し街中に停留所を設ける。お年寄りなど足腰の不自由な方のために、バリアフリー車の採用。高齢者の免許返納を促すルートの設定。恵那病院、恵那駅、郵便局、市役所、ショッピングセンター、住宅街の循環バスの採用。便利になれば免許証の自主返納の見込みが増え、事故防止に繋がると思われます。タクシーは、高すぎるタクシー料金の見直し。スライドドア車の採用。アプリによる配車手配。高齢者(免許証返納者)と乳幼児を連れている親子の年間パスポート配布。全国的に高齢者による交通事故が多発しています。個人に配慮をした交通網を構築することが事故の減少につながると共に、暮らしやすい環境が人口増加に転じると期待出来ると思います。</p>	<p>明知鉄道のJR中央線ダイヤに合わせることは、計画(案)中に、「1時間に1本化」の実現を目指すこととしており、観光列車に特化することについては、「観光列車の推進」とし、利用者拡大を図ることと位置付けております。</p> <p>バスの大型バスの廃止することは、計画(案)中に、「適切なバス車両の更新」としてあり、需要に合わせた大きさの車両に更新を行っていきます。また、市街地を循環するバスを運行することと位置付けております(再掲)。</p> <p>タクシーの料金の見直し等については、計画(案)中に、「タクシー昼間の利活用」として、国で検討中の新たな運賃制度や、配車アプリやキャッシュレス化等のIT活用を検討することと位置付けております。</p> <p>このため、計画(案)を修正することなく、原案のとおりで策定したいと考えております。</p>